

倉敷アブレイズ オフィシャルファンクラブ
2025年度 2025年7月～2026年6月

会員募集中!

ファン限定の特典が盛りだくさん!

会員ランク及び料金

ファンクラブへの登録は、こちらのWebサイトから
簡単にお申し込みいただけます!



ダイヤモンド会員
年会費 50,000円

ルビー会員
年会費 30,000円

サファイア会員
年会費 5,000円

エメラルド会員
年会費 2,000円

クラブパートナー企業一覧

協賛企業一覧

Kurashiki Ablaze

倉敷アブレイズ
Magazine
vol.14



新たな舞台で 戦い抜いた一年

- REPORT 01 2024-25シーズン総括
- REPORT 02 熱戦の前半戦、手応えと課題
- REPORT 03 歓喜と苦闘の後半戦
- REPORT 04 支援者とファンに
支えられたホームゲーム
- REPORT 05 地域活動報告
- REPORT 06 新クラブパートナー
パートナー契約企業決定
- REPORT 07 退団選手のお知らせ





勝利の喜び、敗戦の悔しさ その全てがチームを強くする

REPORT 01 2024-25シーズン総括

倉敷アブレイズにとって、2024-25シーズンは挑戦と成長の一年となった。開幕から粘り強いプレーを見せ、序盤は好調な滑り出しを見せたものの、ホームゲームでは接戦を制することができず、惜しい敗戦が続いた。しかし、12月にはアウェイで4連勝を記録し、チームの成長が結果として表れた。最終成績は13勝15敗で6位。上位チームと互角に戦う場面が増え、昨シーズンからの競争力の向上が感じられた。特に、1月のJAぎふリオレーナ戦でのホーム初勝利は、チームにとって大きな意味を持つ一戦となった。また、シーズン最終戦では今季最多の観客が詰めかけ、会場全体が一体となった応援の中で、選手たちは最後まで全力を尽くした。シーズンを通じて見えた課題と成長を糧に、倉敷アブレイズはさらなる飛躍を目指す。来シーズンはより一層のレベルアップを遂げ、より多くの勝利を重ねることが期待される。

シーズンを振り返って

鈴木監督



2024-25シーズンは、倉敷アブレイズにとって挑戦と成長のシーズンとなりました。最終成績は13勝15敗。決して満足できる結果ではありませんが、新参チームとして13勝を挙げることができたのは大きな成果だと感じています。

シーズンを通じて、選手たちは一戦ごとに成長し、チームとしての結束力もより強まりました。特に、粘り強い試合展開や終盤の勝負強さが発揮された試合が増えたことは、大きな収穫だったと思います。その一方で、上位チームとの対戦では勝負どころでの決定力や試合運びの巧みに課題を感じる場面もありました。あと一步のところまで勝つ切れない試合も多く、シーズン終盤にはその差を痛感することもありました。しかし、この経験こそが、来シーズンのさらなる成長につながると確信しています。来シーズンに向けては、攻守の精度をさらに高め、どんな相手にも自信を持って戦えるチームを作り上げていきます。特に、ホームゲームでの勝率を上げ、応援して下さる皆さんにより多くの勝利を届けることを目標としています。そして、今シーズンも最後まで熱い声援を送り続けて下さったファンサポーターの皆さん、本当にありがとうございました。苦しい試合の中でも、皆さんの応援が私たちの大きな力となり、それが勝利につながった試合も数多くありました。特にホームゲームでは、会場を真っ赤に染めて選手たちとともに戦って下さる皆さんの姿に、何度も勇気をもらいました。支えて下さる皆様の方々に心から感謝申し上げます。来シーズンはさらに成長した姿をお見せできるよう、チーム一丸となって努力してまいります。引き続き、倉敷アブレイズへの温かいご声援をよろしくお願いいたします。

2024-25シーズンは、倉敷アブレイズにとって挑戦と成長のシーズンとなりました。最終成績は13勝15敗。決して満足できる結果ではありませんが、新参チームとして13勝を挙げることができたのは大きな成果だと感じています。

谷口キャプテン



今シーズンは、新しいカテゴリーでの挑戦となり、自分たちより格上の相手との対戦が続きました。自分たちの力をしっかり発揮できた試合もあり、ミスが響いて勝利を逃した試合もあり、戦いの中で多くの課題が見つかるリーグでした。しかし、その課題を一人ひとりがしっかり受け止め、成長のチャンスに変えながら挑戦し続けたシーズンでもあったと感じています。特にホームゲームでは、たくさんの方が会場に足を運んでくださり、最終日には今季最高の1,000人を超える観客の皆さんの前でプレーすることができました。アウェイの試合でも遠くから駆けつけて下さる方々の応援が力になり、どんなに苦しい試合でも最後まで諦めずに戦うことができました。また、ファンの皆様、スポンサー企業の皆様、パートナー企業の皆様、そして大会運営に携わって下さったすべての関係者の皆様の支えがあったからこそ、シーズンを戦い抜くことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。個人的には、キャプテンとしてチームをどう引っ張るべきか悩むことも多く、もっと冷静な判断や声かけができたのではないかと反省しています。しかし、この経験を次につなげ、来シーズンはより強いチーム、より頼れるキャプテンを目指し、日々の練習から努力していきます。次のリーグでは、今シーズン以上の結果を残せるよう、チーム一丸となって課題を克服し、新たな挑戦を続けていきます。引き続き、倉敷アブレイズへの応援をよろしくお願いいたします。

今シーズンは、新しいカテゴリーでの挑戦となり、自分たちより格上の相手との対戦が続きました。自分たちの力をしっかり発揮できた試合もあり、ミスが響いて勝利を逃した試合もあり、戦いの中で多くの課題が見つかるリーグでした。しかし、その課題を一人ひとりがしっかり受け止め、成長のチャンスに変えながら挑戦し続けたシーズンでもあったと感じています。特にホームゲームでは、たくさんの方が会場に足を運んでくださり、最終日には今季最高の1,000人を超える観客の皆さんの前でプレーすることができました。アウェイの試合でも遠くから駆けつけて下さる方々の応援が力になり、どんなに苦しい試合でも最後まで諦めずに戦うことができました。また、ファンの皆様、スポンサー企業の皆様、パートナー企業の皆様、そして大会運営に携わって下さったすべての関係者の皆様の支えがあったからこそ、シーズンを戦い抜くことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。個人的には、キャプテンとしてチームをどう引っ張るべきか悩むことも多く、もっと冷静な判断や声かけができたのではないかと反省しています。しかし、この経験を次につなげ、来シーズンはより強いチーム、より頼れるキャプテンを目指し、日々の練習から努力していきます。次のリーグでは、今シーズン以上の結果を残せるよう、チーム一丸となって課題を克服し、新たな挑戦を続けていきます。引き続き、倉敷アブレイズへの応援をよろしくお願いいたします。

2024-25 V.LEAGUE WOMAN RANKING

1位	ブレス浜松	25勝3敗
2位	リガール仙台	24勝4敗
3位	信州ブリリアントアリーズ	23勝5敗
4位	フォレストリーヴズ熊本	19勝9敗
5位	カナアラウレアーズ福岡	15勝13敗
6位	倉敷アブレイズ	13勝15敗
7位	JAぎふリオレーナ	12勝16敗
8位	東京サンビームス	9勝19敗
9位	ヴィアティン三重	9勝19敗
10位	広島オイラーズ	5勝23敗
11位	アルテミス北海道	0勝28敗



好調なスタートと 苦しいホーム戦

REPORT 02 熱戦の前半戦、手応えと課題

シーズン序盤、倉敷アブレイズは勢いよくスタートを切った。広島オイラーズ戦(10/19・10/20)では、持ち前の粘り強さと勝負強さを発揮し、開幕2連勝を達成。続くリガール仙台戦(10/26)はフルセットにもつれ込む激戦となったが、最後まで集中力を切らさず勝利をつかみ、開幕4試合で3勝と好調な滑り出しを見せた。しかし、11月に入るとチームは試練を迎える。ホームゲームが続いたものの、勝ち星にはあと一步届かなかった。カナアラウレアーズ福岡戦(11/16・11/17)、フォレストリーヴズ熊本戦(11/23・11/24)、ヴィアティン三重戦(11/30・12/1)と、いずれも接戦に持ち込む展開となったが、勝負所での決定力が課題となり、惜しくも敗戦。ホーム初勝利を飾ることはできなかった。それでも、シーズン序盤の戦いを通じて、選手たちは多くの課題と向き合いながら成長を続けた。接戦の中で得た経験は、チームの底力を引き上げ、次の戦いへ向けた大きなステップとなった。



AWAY RESULT

会場:猫田記念体育館(広島県)
10/19 倉敷アブレイズ 3-1 広島オイラーズ
10/20 倉敷アブレイズ 3-1 広島オイラーズ

会場:元気フィールド仙台(宮城県)
10/26 倉敷アブレイズ 3-2 リガール仙台
10/27 倉敷アブレイズ 0-3 リガール仙台

会場:ウイングまつばせ(熊本県)
11/23 倉敷アブレイズ 2-3 フォレストリーヴズ熊本
11/24 倉敷アブレイズ 0-3 フォレストリーヴズ熊本





つかんだ勝利、見えた課題 苦しみ抜いた先に見えた光

REPORT 03 歓喜と苦闘の後半戦

12月に入り、倉敷アブレイズは苦しい状況から抜け出した。アルテミス北海道戦(12/7・12/8)では、粘り強いバレーを展開し、ブロックとディフェンスの連携が光る試合運びでストレート勝利を収め、連敗をストップ。さらに、カノアラウレアーズ福岡戦(12/27・12/28)では、フルセットの接戦を制し、見事4連勝を達成した。しかし、年が明けると再び試練の時を迎える。フォレストリーヴズ熊本や信州プリリアントアリーズといった上位チームとの対戦では、セットを奪う場面もあったが、勝負所の決定力不足が響き惜敗。それでも、1/11・1/12のJAぎふりオーレナ戦では、レシーブやブロックの強化が実を結び、粘り強いプレーで連勝を飾った。開幕から15試合目にしてつかんだ待望のホーム初勝利は、チームにとって大きな意味を持つ一戦となった。そして迎えた3月、シーズン最終戦の相手は首位・プレス浜松。水島緑地福田公園体育館には多くのファンが詰めかけ、会場を赤く染めた。選手たちは果敢に挑み、何度もチャンスを作ったが、相手の高さや決定力に苦しみ惜しくもストレート負け。それでも、最後まで粘り強く戦う姿に、会場は熱い声援と拍手に包まれた。試練を乗り越え成長した今シーズンを糧に、チームは次の挑戦へ向かっていく。



AWAY RESULT

- 会場:北ガスアリーナ札幌46(北海道)
 12/7 倉敷アブレイズ 3-0 アルテミス北海道
 12/8 倉敷アブレイズ 3-0 アルテミス北海道
- 会場:田川市総合体育館(福岡県)
 12/27 倉敷アブレイズ 3-2 カノアラウレアーズ福岡
 12/28 倉敷アブレイズ 3-2 カノアラウレアーズ福岡
- 会場:軽井沢風越公園総合体育館(長野県)
 2/8 倉敷アブレイズ 3-1 東京サンビームス
 2/9 倉敷アブレイズ 3-0 東京サンビームス
- 会場:山県市総合体育館(岐阜県)
 2/15 倉敷アブレイズ 0-3 JAぎふりオーレナ
 2/16 倉敷アブレイズ 0-3 JAぎふりオーレナ



赤く染まった会場に 響き渡る声援

REPORT 04 支援者とファンに支えられたホームゲーム

今シーズンの倉敷アブレイズのホームゲームは、多くの支援者とファンに支えられ、大いに盛り上がりを見せた。特に、日本ゼオン株式会社、ボートレース児島、株式会社倉敷ケーブルテレビ、倉敷成人病センターの各企業が冠スポンサーとして協賛し、特設ブースの設置や来場者プレゼントなど、さまざまな企画を実施。これにより、多くの観客が訪れ、会場は熱気と一体感に包まれた。また、今シーズンも多く企業の活動を支援し、そのサポートが選手たちの活躍を後押しした。そして、何よりも大きな力となったのは、ホームゲームに足を運び、熱い声援を送ったファンの存在だった。どんな試合でも選手たちにエールを送り続け、その声が選手たちの闘志を奮い立たせた。特に最終戦では、今シーズン最多の来場者数を記録し、満員の会場が一体となった応援が繰り広げられた。



HOME RESULT ()は観客動員数

- 会場:岡山県津山総合体育館
 11/16 倉敷アブレイズ 1-3 カノアラウレアーズ福岡 (450人)
 11/17 倉敷アブレイズ 2-3 カノアラウレアーズ福岡 (453人)
- 会場:水島緑地福田公園体育館 [日本ゼオン株式会社PRESENTS]
 11/30 倉敷アブレイズ 2-3 ヴィアティン三重 (605人)
 12/1 倉敷アブレイズ 1-3 ヴィアティン三重 (551人)
- 会場:水島緑地福田公園体育館 [ボートレース児島PRESENTS]
 1/11 倉敷アブレイズ 3-1 JAぎふりオーレナ (492人)
 1/12 倉敷アブレイズ 3-1 JAぎふりオーレナ (456人)
- 会場:岡山県津山総合体育館
 1/25 倉敷アブレイズ 0-3 フォレストリーヴズ熊本 (468人)
 1/26 倉敷アブレイズ 0-3 フォレストリーヴズ熊本 (511人)
- 会場:水島緑地福田公園体育館 [株式会社倉敷ケーブルテレビPRESENTS]
 2/1 倉敷アブレイズ 1-3 信州プリリアントアリーズ (418人)
 2/2 倉敷アブレイズ 1-3 信州プリリアントアリーズ (491人)
- 会場:水島緑地福田公園体育館 [倉敷成人病センターPRESENTS]
 2/22 倉敷アブレイズ 3-0 広島オイラーズ (921人)
 2/23 倉敷アブレイズ 3-1 広島オイラーズ (992人)
- 会場:水島緑地福田公園体育館 [株式会社倉敷ケーブルテレビPRESENTS]
 3/1 倉敷アブレイズ 0-3 プレス浜松 (642人)
 3/2 倉敷アブレイズ 0-3 プレス浜松 (1072人)



REPORT 05 地域活動報告

一日消防署長を務めて

一日消防署長として、通常点検、LIVE119(119番通報訓練)、救助訓練体験、広報活動などを体験させていただきました。普段なかなか触れることのない消防の現場を間近で体験し、地域の安全を守る消防士の皆さんの努力を改めて実感しました。特に救助訓練では、迅速かつ正確な動きが求められ、その技術の高さに驚かされました。LIVE119の訓練では、緊急時に冷静に通報する難しさを実感し、防災意識の重要性を再認識しました。どの訓練でも消防士の皆さんが親切に指導してくださり、安全に取り組むことができました。この経験を通じ、私たちもスポーツを通して地域に貢献し、支えてくださる皆様への感謝を忘れずに努力していきたいと思ひます。



スポーツフェスティバル

10月6日に「倉敷市民スポーツフェスティバル」、10月13日に「つやまスポーツフェスティバル」に参加し、多くの子供たちと一緒にバレーボールを楽しみました。バレー体験では、子供たちが一生懸命ボールを追いかける姿が印象的で、私たちもたくさん元気をもらいました。バレーボールの基本的な動きを体験してもらい、スポーツの楽しさや体を動かす喜びを感じてもらえるよう工夫しました。短い時間ではありましたが、子供たちが笑顔で取り組んでくれたことが何より嬉しく、バレーボールの魅力が少しでも伝わっていたら幸いです。今後もこうした地域イベントに積極的に参加し、スポーツの楽しさを広めながら、地域の皆さまと交流を深めていきたいと思ひます。



バレーボール・幼児スポーツ教室

子どもたちにバレーボールの楽しさを伝えるため、バレーボール教室や幼児スポーツ教室を開催しました。バレーボール教室では、アップから基礎練習まで丁寧に指導し、子どもたちも興味津々の様子で真剣に取り組んでくれました。アドバイスにも元気に返事をしてくれ、とても気持ちよく教室を開催することができました。幼児スポーツ教室では、「運動の楽しさ」や「できた!」という成功体験を増やすことを大切にしながら、さまざまな運動を実施しました。子どもたちもアブレイズに会うのを毎回楽しみにしてくれ、一生懸命取り組んでくれました。そして、今シーズンの最終戦ではエスコートキッズとして選手と手をつなぎ、入場する特別な経験をしてもらいました。子どもたちの成長や笑顔に触れることができ、私たちにとても大変貴重な時間となりました。今後もスポーツを通じて、地域の皆さまとつながり、笑顔を広げていけるよう活動していきます。



REPORT 06 新クラブパートナー・パートナー契約企業決定

【クラブパートナー】



水島ゴム工業用品株式会社

【パートナー】



ハウジングモール倉敷



テレビせとうち株式会社



このたび、倉敷アブレイズは新たに2社の企業様とクラブパートナー契約、1社の企業様とパートナー契約を締結いたしました。心強いご支援をいただけることに感謝するとともに、チームのさらなる成長と地域の発展に向けて、皆様とともに歩んでいけることを嬉しく思ひます。今後も、企業の皆様と連携しながら、バレーボールの魅力を広め、地域の活性化に貢献できるよう取り組んでまいります。

REPORT 07 退団選手のお知らせ



#7 渡邊采音 #9 高橋薫 #12 吉田優菜 #14 藤原滯奈

今シーズンをもって、4人の選手がチームを離れることとなりました。これまでの貢献に感謝し、新たな道での活躍を心より願っています。ファンの皆さまも、引き続き温かい応援をよろしくお願いいたします。

